

編集後記

新型コロナウイルスが世界的に広がり、いまでも収束の兆しが見えない。国内でも多くの人が罹患し苦しんでいる。また、事業環境が一変して経済的苦境に陥った企業や個人の方も多し。まず、困難な状況にある方々へ編集委員会から心よりお見舞いを申し上げたい。

同時に、コロナ禍に立ち向かって戦っている多くの方々、中でも医療従事者の人々に敬意を表したい。日々リスクを負いながら懸命の尽力をしてくださっていることに感謝を申しあげる。

そして、経済学や経営学、その他関連領域を専攻する、我々、和光経済研究所に集う研究者はどのような貢献ができるのか、真剣に自問している。14世紀中葉のペスト大流行の前後がそうであったように、2020年はコロナの前後で世界が変わったという区切りの年となるだろう。

歴史的な時代区分となり得る今年度の第1号には、地域振興、電子マネー、高齢化に関する3本の論文が掲載されている。そのどれもが現代的課題であると同時に、コロナ後の「新しい」社会にとっても重要な課題となり得る。

本年度の編集委員会としては、変革期に相応しい論文が数多く投稿されることを願っている。先人はこれまで苦しさに喘ぐ時、「明けない夜はない」と言って励ましあってきた。我々も夜明けのことを、また、夜明け後のことを研究成果を通じて積極的に発信していきたいと考えている。

やや異色の編集後記となったが、未曾有の時代にあった編集委員会の考えたことを記録する意味も鑑みてお許しいただきたい。

(2020年7月 加藤 巖 記)

和光経済 第53巻 第1号

2020年9月4日 印刷

2020年9月10日 発行

発行者 鈴木 岩 行

制作 八 千 代 出 版

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-2-13

発行所 和光大学社会経済研究所

〒195-8585 東京都町田市金井ヶ丘 5-1-1